

19. 産業の被害（水産業）

漁港および漁業の状況

○被害状況

- ・被災漁港数44港（市内全漁港（県管理10港、市管理34港））
- ・被害額約1,673億円（県管理漁港：約981億円、市管理漁港：約692億円）
- ・損失漁船数2,762隻（被災前3,230隻＝85.5%）
- ・その他損失防波堤破損流出多数、定置網や養殖施設はほぼ全壊

水産物地方卸売市場の状況

○被害状況

- ・石巻売場全施設（水揚棟、海水浄化施設、管理棟）が全壊
- ・牡鹿売場全施設（市場、製氷冷蔵施設）が全壊

水産加工団地の状況

全国有数の水産加工団地が石巻漁港の背後地（魚町）に形成されていたが、地震により甚大な被害を受けた。

震災前は、水産加工業および冷蔵倉庫その他関連事業で207社があり、すべてが何らかの被害を受けた。



石巻市//東日本大震災アーカイブ宮城

▲渡波



石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城

▲魚町



石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城

▲魚町



石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城

▲魚町 (石巻漁港)



石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城

▲幸町



石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城

▲渡波梨木畑 (石巻湾漁業協同組合共同かき処理場付近)

20. 産業の被害（商工業）

市内の商工業は、地震・津波により大きな被害を受けた。

特に、工業港背後地の製造業・倉庫業は、津波の直撃を受け、建物・設備に大きな被害を受けた。また、中心市街地の商店街も、旧北上川をさかのぼった津波に襲われた。

門脇・湊・渡波地区をはじめ、沿岸部に点在する商店・工場なども大きな被害を受け、また、内陸部であっても、地震の揺れにより設備などに被害を受けた企業もあった。



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲緑町



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲日本製紙



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲日本製紙



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲築山

21. 医療の被害

地震と津波により石巻市の医療機関は大きな被害を受けた。

特に、石巻赤十字病院とともに市内の基幹的な病院であった市立病院および隣接する夜間急患センターが津波により1階が壊滅し、その機能を失ったことは地震直後の医療体制にも大きな影響を与えた。また、雄勝病院は、屋上まで津波が押し寄せ、避難が間に合わず、多くの犠牲者を出した。牡鹿地区の寄磯診療所も流出した。

その他民間の病院・診療所も多くの被害を受けた。

平成23年(2011)3月10日と平成23年(2011)9月11日を比べると、病院数は10から7に、一般診療所数は103から92に、歯科診療所は68から56に減少した。

薬局も同年10月20日現在で73から60に減った。

このように地震により石巻市の医療は大きな打撃を受けた。



石巻市/東日本大震災アーカイブ宮城

▲旧市立病院



ピースボート災害ボランティアセンター 撮影者/片岡和志

▲旧雄勝病院



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲旧市立病院内



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲旧市立病院内



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲北上保健医療センター



石巻市 / 東日本大震災アーカイブ宮城

▲北上保健医療センター